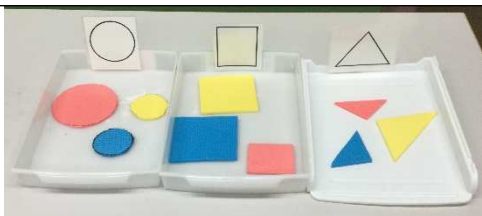


色や形、大きさに着目して仲間分けすることの指導 ～図形カードを使った事例～			
学部・教科	小学部・算数科	事例コード	2409
学習グループの実態	- 小学部3学年（5名） - イラストなどを見て「同じ・違う」の区別ができる。 丸、三角など図形の名称は理解が不十分である。 - 簡単な言葉を聞いて行動することができる。 - 発音は不明瞭であるが、「これ。」など簡単な言葉を言うことができる。		
単元(題材)名	『いろいろなかたち～○△□～』		
学習指導要領の内容	算数科／小学部2段階 B図形 ア ものの分類に関わる数学的活動 イ 身の回りにあるものの形に関わる数学的活動		
単元(題材)の目標	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
	色や形、大きさに着目して分類することができる。身近なものを目的、用途及び機能に着目して分類することができる。【Bア(ア)の④】	身の回りにあるものの形に関心に向け、丸や三角、四角を考えながら分けたり、集めたりすること【Bイ(イ)の⑤】	図形に関心をもち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぼうとする。【Bウ】
単元(題材)の計画	総時数10時間 1 形の名前を知る。形を描く。形に着目して分ける。(2時間) 2 形の名前を確認する。形を描く。大きさに着目して分ける。(2時間) 3 形の名前を確認する。形を描く。色に着目して分ける。(2時間) 4 形の名前を確認する。形を描く。形に着目して分ける(色、大きさが違う物でも形で分ける)。(2時間) 5 校内を歩き、身の回りにある形を探す。(1時間) 6 見つけた形を印刷したものを○△□に分けて模造紙に貼る。(1時間)		
指導の実際	* 本事例集では、学習指導要領の目標及び内容に基づいた表現に編集しています。		
	色、形、大きさに着目して図形を分ける。  学校の中で図形を探す。  - 図形カードの仲間分けでは、形や大きさ、色に着目してケースに入れていくことができた。間違えて入れてしまった場合も、しばらくケースの中を見つめて違いに気づき、正しく入れ直す姿が見られた。 - 教師に図形の名称を尋ねられた際に、不明瞭ではあるが「まる」や「さんかく」と言葉で答えることができた。また、言葉を言いながら手で丸や三角を作って伝えようとする姿が見られた。形の特徴を捉えることができた。 - 身の回りの形探しでは、よく周囲を観察し、見つけた図形を教師に伝えることができた。また、算数の時間以外でも、教室移動で廊下を歩いている際などに「さんかく」、「まる」など、見つけた形を教師に教える姿が見られるようになった。 - 図形を描く活動では、歌に合わせて空中に指で描く活動が難しかった。線の軌跡が残らないので分かりづらかった。紙に図形を描く活動では、自分で紙を押さえながら描くことが難しかったので、紙を机に固定した。		